

保護者各位

ICM 国際メディカル専門学校・学校通信

日頃より本学の専門教育にご理解をいただき誠にありがとうございます。国際メディカル専門学校では、医療・福祉の現場で即戦力として活躍できる人間力育成を目標とし、下記の教育方針に基づき様々な角度から教育を行っています。年間の主だった活動状況を、保護者様とも情報共有させていただきたく、本通信にて平成27年度の活動の様子についてご報告させていただきます。

今後とも就学生活の様々な面において保護者様からのご理解ご協力をお願い申し上げます。

人間力育成のための学校教育方針

実践行動学	自らの夢を描き、実現のための目標を明確にすることで、モチベーションを向上・維持し、また諦めず継続的に学習し目標達成に向け前向きに行動することができる。
礼儀・礼節	あいさつは人間関係の最も重要なコミュニケーションであり、笑顔で元気にあいさつを交わすことができ、状況に応じた正しい言葉遣いや行動ができる。これらの言動を通して感謝の心を持つことができる。
清潔	自らの身だしなみを整え、校舎内・外の環境をきれいに保つことで、自らの心を磨くことができる。
地域貢献	地域行事への参加を通して地域に関心愛着を持ち、地域社会の一員であることを自覚することができる。
国際理解	海外研修や留学生との交流を通して、異文化を受け入れ、素直で他を尊重する精神を持つことができる。
奉仕	ボランティア活動を通して、他人を思いやる謙虚な気持ち、公共のために尽くす心を持ち、人と人とのつながりを実感することができる。
集団行動	集団の中で他者と協調し、達成すべき目標や行うべき行動の実現を通して、リーダーシップを学び自ら果たすべき責任や役割の重要性を身に付けることができる。

【妙高園チームビルディング研修（新入生）】

全学科新入生を対象として妙高市にあります「NSG 妙高園」にてチームビルディング研修を実施しております。本研修では妙高の豊かな自然環境や現地の施設を利用しながら、一人では解決できない様々な課題に対して、ひとりひとりの持ち味や能力を出し合い、グループで協力して解決していくプログラムが多数用意されています。新入生たちは自然の中でのびのびと楽しみながら、チームワークの大切さについて学んでいきます。

ICM 学生が目指す医療の現場では、他の医療スタッフと連携を図り、お互いの役割を理解しながら患者様のサポートにあたるチーム医療の考え方が大変重要となります。研修に限らず、コミュニケーション能力や人との関わり方、接し方などを学校生活の様々な行事や体験を通して学び、ひとりひとりがチームの一員として役割をもって、全員の目標達成に向けて充実した就学生活を送ってくれることを期待しています。



【海外・国内研修旅行（2年生）】

6月、全学科2年生対象の合同研修を、海外2コース（グアムコース、シンガポールコース）と国内（東京）コースに分かれて実施しました。ICMでは個人旅行では実現が難しい施設視察や交流機会を通して、教育方針の一つでもある「国際理解」を深めてもらうことを目的に、海外研修への参加を推進しております。

海外コースでは、現地学生との交流機会と医療機関の視察を含めた研修を行っています。いずれのコースも英語圏の国ですが、国際化の時代において、万国共通語である英語力の必要性について肌で感じた学生も多かったのではないかと思います。現地の学生たちとも一生懸命英語で会話を試みる様子がみられました。また、医療機関の視察でも、日本との共通点や違いを発見し、将来に向けての大きな刺激となったと思います。

国内は国立ハンセン病資料館および東京ディズニーアカデミー研修を実施しました。ハンセン病資料館では、ハンセン病患者を取り巻いてきた厳しい環境を理解すると共に、医療に関わる人材として正しい知識に基づく対応をしていく必要性を感じたことと思います。また、ディズニー研修では香取貴信氏にご講演頂き、講師の体験やサービスの裏にある数々のディズニーのドラマから、「働くことのすばらしさ」「成長する楽しさ」について熱く語っていただきました。将来、医療サービスに関わる学生にとっても、そこで求められるホスピタリティについても考えるよい研修であったと思います。



【NSG サンクスデー～アルビレックス新潟をピッチで応援～】

7月29日、アルビレックス新潟ホームゲームに、ICMからの参加学生約70名を含めたグループ学生約1500名が「NSGカレッジリーグサンクスデー」の下で集結し、グラウンドをアルビレックスカラーのオレンジ色の輪で囲み、歌と踊りのパフォーマンスで応援しました。自主参加型の同イベントも今回で4回目の実施となりましたが、昨年に引き続き2年連続で参加してくれる学生も複数名おり、率先してイベントを盛り上げてくれました。アルビレックスサポータの目の前で熱狂的な応援にも負けない熱心なパフォーマンスでした。

新潟スポーツ界を代表するアルビレックスの応援は「地域に根差したチームを、地域の一員としてみんなで一丸となって応援する」という思いの中で実施しているものになります。地域活性には若い世代の積極的な関わりが大切です。様々な地域貢献活動への学生参加を推進していきたいと思います。



【にいがた総おどり】

9月20・21日、今年で参加4年目となります「にいがた総おどり祭」に参加しました。今やオールジャンルの踊りが集う日本最大級のダンスフェスティバルに成長した総おどり、観客が20万人を超える新潟の夏の終わりの風物詩となっている祭りイベントです。同イベントに向けて踊り手としての参加意思のある学生を募り、その中から学生リーダーを選出し、学生中心に練習を重ねて本番に臨みます。また、NSGカレッジリーグ全体のテーマにもなっています“交流の輪”を広げる取り組みとして、グループ校の新潟国際自動車大学校（GIA）さんとのコラボチームにて、両校の略称を合わせたチーム名『GICM（ジー・アイ・シー・エム）』として参加しています。両校合せて総勢約80名と、これまでで最も大人数での参加となり、万代や古町といった新潟市内中心街にて大勢のお客さんの前で学生らしくイキイキとした元気いっぱいの踊りを披露しました。いずれの会場でも演舞後には大きな拍手と共に「すごい!」「ブラボー!!」といった歓声も聞こえていました。踊り終えた学生たちの表情も満足感や達成感に満ちたものでした。

“感動”とは“心が動く”こと、参加学生たちの心は確実に動いたと確信しています。参加も4年目となり、学科や学校の枠を超えて先輩から後輩に引き継いでいく伝統的なイベントに成長してきました。そんな熱いイベントに来年もたくさんの学生が参加してくれることを期待しています。



にいがた総おどりでの ICM 学生参加の様子や他カレッジリーグ生の活気ある踊りの様子が下記 YouTube 動画にてご覧いただけます。是非、イキイキとした学生たちの様子をご覧ください。

ICM 学生参加の様子 <https://youtu.be/JVJuELEjekc> 右記 QR (左)

NSG 学生参加の様子 <https://youtu.be/UEySioRnoM4> 右記 QR (右)



【NSG カレッジリーグ初の試み～大運動会 2015～】

10月2日、NSGカレッジリーグ初の試みとしてサッカーアルビレックス新潟のホームグラウンド「デンカビッグスワン」を貸し切った『大運動会』が開催されました。ICM学生約300人を含むグループ学生総勢約3,000人が一堂に集まる文字通りの大運動会となりました。運動会は3,000人を8チームのグループに分け、チーム対抗戦で様々な団体競技や個人競技に挑む形式で行われました。ICM学生は長岡こども医療介護専門学校（N-heart）さんとの合同黄色チームで参加しました。運動会では定番の大玉送りや綱引きなどの団体競技では、学科や学校の枠を超えて一致団結して臨み、100m走やチーム対抗代表リレーでは各校の俊足自慢たちが最高のグラウンドを爽やかに駆け抜けました。さらに、参加選手100人規模でゴールを争う100人サッカーなる競技が行われ、Jリーグや国際試合でも使用される最高の芝生の上で、白熱した試合が展開されました。

参加学生たちの声や様子からも有意義で楽しいイベントであったことが伺えました。次年度以降も継続開催が予定されています。また、スポーツイベントだけではなく、カレッジリーグ合同での学園祭の企画も現在検討されています。カレッジリーグのスケールメリットを生かした「学生交流の輪」を様々な形で実現していきます。



NIIGATA HAPPY PROJECT
We Have Dreams.

NSG カレッジリーグでは「交流の輪」をテーマとして様々なイベント企画が実施されています。そのイベントの様子や学生の姿を新潟から世界に向けて動画発信する”NIIGATA HAPPY PROJECT”を展開しています。本通信でも紹



介しております参加型イベントを含め、すでに複数の動画が発信されておりますので、今後も是非ご覧ください。

【国家試験・目標検定に向けて】

各学科が目指す国家試験、目標検定（日程下記）が迫って参りました。1月現在、受験学生は3年間の学びの集大成として、試験に向けて努力を重ねています。学校では「受験者全員が合格する」ことにこだわりをもって学内の雰囲気作りをしています。今年も学内の各フロアには受験生を勇気づける名言や教員からの応援メッセージなどを掲示しています。また、2月4日には全科全員合格を祈願する合格祈願祭も予定されています。学科単位では様々な工夫を凝らしながら、試験に向けた動機づけと成果向上に努めております。『合格』は自らの力で掴み取る、そのために今やるべきことに集中していただけるように環境づくりにも力を注いで参りますので、保護者様からも励ましの言葉をかけてくださいますと幸いです。

- 診療情報管理士認定試験（試験日：2月14日 会場：新潟 / 発表：3月23日 本人宛郵送）
- 看護師国家試験（試験日：2月14日 会場：東京 / 発表：3月25日 厚労省HP）
- はり師きゅう師国家試験（試験日：2月28日 会場：新潟 / 発表：3月28日 厚労省HP）
- 臨床工学技士国家試験（試験日：3月6日 会場：東京 / 発表：3月28日 厚労省HP）

本通信は、学校全体の取り組みに関する報告となっております。学科または学生個人に関する報告や相談に関しては、それぞれ学科担当、クラス担任を通じてご確認下さい。なお、学校ホームページや学校 Facebook（下記学校ホームページからも入れます）にて、イベントの紹介や実施報告、学科ブログを通して各科の様子を随時配信しております。お気軽にご覧下さい。

学校ホームページ URL <http://www.icm-net.jp>

学校通信記事編集担当：教務部 佐藤秀幸